



2017 IPC NORDIC SKIING  
WORLD CUP SAPPORO JAPAN

# ピョン チャン めざせ平昌パラ

2017年3月18～22日まで、西岡バイアスロン競技場（札幌市豊平区）で、障がい者ノルディックスキーワールドカップ札幌大会が開催されました。

IPC（国際パラリンピック委員会）が主催するこの大会は、札幌では初めての開催で、パラリンピック、世界選手権に次ぐ、障がい者のトップアスリートが競い合う国際大会です。



表紙：30秒毎にスタートを切るシットスキーの選手たち  
目次：札幌在住の星澤克選手（立命館慶祥高校）  
の気迫こもる力強い走り  
裏表紙：会心のゴールを決めた札幌在住の新田のんの  
選手（札幌デザイナー学院）



# チャンピオン



日本選手10人を含む、ウクライナ、カナダ、アメリカ、ノルウェーなど世界15カ国から約80人の選手が結集し、日頃の鍛錬の成果を競い合いました。

競技種目は、視覚障がい、立位、座位の、クロスカントリースキーとバイアスロン。海外の約60人のスタッフに加え、延べ約180人の市民ボランティアも大会運営を支えました。

クロスカントリーと射撃を交互に行い、タイムを競うバイアスロン。応援の小学生から「おしいっー」「ドンマイ」「パーフェクト」「がんばれー」と大声援が上がります

